

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		企画課		企画係		No	1
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	7	効率的で健全な行財政基盤づくり	4	広域連携の強化	2	関係市間の連携強化	
事業名	広域市町村圏連携事務						
予算費目	款		項		目		
	細目		細々目		会計種別		
事務区分(根拠法令)		()			予算種別		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
昭和44年に国の政策により山口県に8区域の広域圏が設定され、3市3町による宇部小野田広域市町村圏振興整備協議会が設置され、合併後は、宇部、美祢、山陽小野田の3市により協議会を開催している。		宇部市、美祢市、山陽小野田市の3市が、行政の広域的な執行について相互に連絡調整を図るため、宇部・美祢・山陽小野田広域連携協議会を置き、広域圏の連携を図りながら福祉、観光、文化・スポーツなどの振興に努める。		会長及び事務局(会長の属する市の担当課)は持ち回りで、平成21年度から2年間は山陽小野田市長が会長であり、年2回協議会を開催する。協議会の下に幹事会をおき、幹事会では協議会の会議に付議すべき事項の事前審議及び協議会の会議で指定する事項を処理する。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
協議会の開催数			新たな3市の連携事業				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
2(回)		2(回)		設定しない		0(事業)	
%							

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
				一般財源	()		
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
・事業展開を行うため、3市の共通課題について、さらに検討が必要である。	・今後も3市で協議の場をもって検討したい。

事業の方向性(一次評価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要

その他	ゼロ予算事業
-----	--------